

科目名	機械技術演習	英語科目名	Exercise of Mechanical Engineering
開講年度・学期	2011年度・前期	対象学科・専攻・学年	機械工学科5年
授業形態	講義	必修 or 選択	選択
単位数	11	単位種類	履修単位(30時間単位)
担当教員	機械工学科全教員	居室(もしくは所属)	機械工学科
電話	各教員	E-mail	各教員
授業の達成目標			
<p>演習や実技を伴う専門科目について、指導を受けながら、学生自らが学習計画を立て、演習や実技を繰り返し、深く学び、知識と技能を習得する。これを通じて、学生自らの学習態度や方法に気づかせ、主体的に学習する意欲を喚起する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学習計画を立てて主体的に学習できる。</li> <li>2. 基礎的な知識や技能を習得し、それらの関連がわかる。</li> <li>3. 学習成果を発表できる。</li> </ol>			
達成目標に対する達成度の具体的な評価方法			
1～3. 受講態度, 発表の内容により総合的に評価する。			
評価方法			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習計画、発表能力、学習成果報告によって評価する。</li> <li>・指導教員がそれぞれ評価する。</li> </ul>			
授業内容			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 担当教員と相談し、専門科目を選択する - (1週)</li> <li>2. 学生自らが選択した科目の学習計画を立て、指導教員と相談する。 - (2週)</li> <li>3. 演習と実技を繰り返しながら学習する。 - (8週)</li> <li>4. 学生自らが正しい知識を効果的に学習できる演習問題を作成し、その効果の評価方法についても研究する。 - (2週)</li> <li>(1～4. 課題に関連する文献の調査, 必要な実験)</li> <li>5. 学習成果を発表する。発表資料の作成 - (1週)</li> <li>6. 学習成果を報告書にまとめる。レポートの作成 - (1週)</li> </ol>			
キーワード	創造性、基礎力の定着、学習方法		
教科書	内容に示した科目の教科書		
参考書	特になし		
小山高専の教育方針①～⑥との対応	②③④⑥		
技術者教育プログラムの学習・教育目標	(A-1) (A-2) (A-3) (B-1) (D-2)		
JABEE 基準1の(1)との関係	(d),(f), (g)		
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目	各テーマによる		
現学年の関連科目	各テーマによる		
次年度以降の関連科目			
連絡事項			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 科目担当教員の指導を受け、実技や演習を伴う第4学年までに学習した科目について学習計画を立て、学生が主体的に学習し、教員の試問を受け、基礎力を確認する。</li> <li>2. 学生自らが主体的な学習の大切さを認識し、学習に対する目的や取り組みに気づかせる。</li> <li>3. 自分の理解のレベルを認識し、どう学んだらよいか、自らが気づいてほしい。その時が自ら主体的に学習する好機となる。</li> </ol>			
シラバス作成年月日	2010年12月24日		

